

# カロ治木だより

No. 14

2007.12. 21

鹿児島県立加治木高等学校



清新洗剤 夢に向かって突っ走ろう  
—自分の可能性を信じて

校長 小倉順

ところで若い皆さんにとって一番不安で悩ましいことは、自分の夢や未来に対する可能性がどの程度あるのか、実現に向いているかなどであろうと推察します。

先日、先輩たちの話を聞いて皆さんが強く感じてもらえたことの第一は、どの先輩たちも、決して順風満帆な日々ではなかつたことだということです。彼らの話の中には、多くの壁に当たり、たじろぎ諦めかけたり、時にはそのルートを断念し別のルートを探したりされてきたはずです。しかし、どの先輩にも共通していることが、「失敗を恐れず逆風の壁の中にあつても決して自分の夢を諦めず、

られる柿元邦彦さんの話を、皆さんと一緒に聴く機会がありました。いずれの先生も、後輩である皆さんのために、これまでの生き方、自分の職業のことや学生時代のエピソードなども交え、頼もしい後輩へのエールとして話を聞いていただきました。大志を実現するために日々努力している君、或いは今一步躊躇しているあなたにはどのように映つたでしょうか。夢や大志を描き突っ走っている皆さんにとって、二十一世紀のリーダーになるための大きな示唆を与えていただいたと考えます。

創立百十周年を記念し、「先輩が後輩に贈る龙门講座」と題して二十四名の先輩達。加えて創立記

自分の才を信じつづけて懸命に努力を惜しまず、  
に継続的な努力をしてこられた。」  
その結果として今があることを教えていた  
だいたと思います。

百十周年記念式典を終えて  
—夢と憧れの実現のために—

二つ目は、夢を実現するための可能性性です。人間の能力や可能性には無限の部分を持つています。殆んどの人は、自分の能力のごく一部しか使っていないことはこれまで何度も話してきました。一部しか活性させず使わないから、結果として人は持ちえた可能性のごく限られた数個分ぐらいしか実現させていないことになります。それで良いのだと考えます。Jリーグの選手であり、NBAバスケット選手で、しかもプロ野球の選手である必要性はありません。天文学者であつて、医者である必然性もありません。ルネサンスの時代に活躍したレオナルド・ダビンチならいざ知らず、現代はこのように幾つも幅を広げる必要はないとも思ふからです。要は、頑なに不器用な自分で言うオンリーワンになれば良いと方で言うオノリーワンには考えます。

の行動力で、即行動すべきだと考えます  
百十周年を機に、皆さんそれぞれが新たな歴史を拓いていく一人一人です。校是を目指し、眞の加治木高校生により近づけます。

現在、三年生は直前の大きな北壁に向かって精一杯の頑張りを見せております。最後まで粘り強く、諦めずに継続的な努力をして頂きたい。夢を膨らませそれに向き会って清新澆乳として頑張つていいく2年生、一年生も一緒だと思います。歩ずる努力を惜しまず継続しましょう。

去る十一月十日に爽やかな秋晴れのもと、多数の来賓と県内外の同窓の方々をお迎えして、創立百十周年記念式典が本校体育館で盛大に挙行された。式典は生徒会役員西牟田君・山本さんの二名が厳かな雰囲気の中に温かみのある司会進行をし、營々と積み重ねてきた歴史と伝統を継承し、新しい歴史の創造を決意させるものであつた。

学校長は式辞の中で校是である「清新  
澆刺・堅忍不拔・質朴剛毅」の具現化こそが新しい時代のリーダーに相応しい資質を磨くことであり、新たな飛躍に繋がる。変動の時代に勇気を持つて立ち向かって欲しいと激励した。また、長野実行委員長から「龍門講座」や「教育環境整備」等の記念事業を活用し、発展の礎にしてほしいという挨拶があつた。この後、県知事・県教育委員会から祝辞を頂いた。「喜びのことば」の中で今塙屋生徒会会长は、歴史を肌で感じ、伝統に恵まれた環境で加高生らしい姿を追求し、力強く未来を切り開いていくことを誓つた。

そして、旧制加治木中学校・加治木女学校の校歌を野球部・コーラス部・新体操部・ハンドボール部の生徒が紹介し、参列された先輩諸兄の中には青春時代を追憶し涙をためる方もおられた。最後に加治木高校校歌を全員で声高らかに合唱して式典を終了した。

## 創立110周年記念講演について

体育科 中村万里子

演題：「モータースポーツ技術と文化」

講師：柿元邦彦氏

(加治木高校昭和39年卒業)

文化

講師の柿元氏は国内はもちろん、サファリ・ラリーをはじめルマン24時間レース等の国際イベントでも数多くの輝かしい功績を残されている。まず講演はレースの映像から始まり、私たちはそのスピード感・スリル感に釘付けにされた。その映像は、まさに限界に挑む挑戦者たちの姿を映し出していた。

車が加速し、旋回時の摩擦によつて生じるタイヤへの荷重の増大方法(空力)の工夫や、車のボディ周辺の複雑な圧力など、すべてを研究し尽くし結集させてレースに臨む。それでも思わぬ事態が起きることを、ウォームアップ走行中のユーノーディ



## 創立110周年記念龍門講座を受講して

三年三組 村井結菜

今日の龍門講座の講師である重森英樹先生の話を聞いて、発展途上国の状況や、人生についての教訓などを学びました。私は、重森先生の高校時代のように、確かな目標を持たず、すぐに諦めてしまがちです。今回先生の話を聞いて、何事をやるのも遅すぎないということを学びました。すぐに諦めて投げやりになるのではなく、まずは手近なところから一つづつ手を付けるという言葉に、とても重みがあるよう感じ、これからその教訓を生かしていくこうと思いました。

将来、国際関係の仕事に就こうと思っていました。



いる私には、先生の講話はとても勉強になりました。とても刺激されました。発展途上国は、労働条件や衛生面など、直接体験している先生の話はとても真実味があり、いろいろな国家の情勢が分かりました。

私も先生のように出世できるよう、善念善來という言葉を心に入れて頑張りました。面白くて貴重な講話を聞けてよかったです。

## 「仲間と作つた体育祭」

三年四組 上村拳士朗

「優勝は・・・黄組です。」僕はこの言葉を聞いて、うれしさと目標を達成した幸福感が重なり、おもわず涙が出た。こんなに心から泣けたのも、きっと三年黄組のみんなと出会えたからだろう。そもそも、僕が団長をするきっかけとなつたのは野球の全校応援が深く関係している。選手としてプレーした自分は他校とは比べものにならないほどに声を出し、応援してくれた加治木高校に感動し、一人一人に恩返しをしたいと考えたのが団長をやろうと思ったきっかけだつた。しかし、こんな自分勝手な理由で団長をしてもらいたいのだろうかと思うと不安になつた。僕はいろんな人に「わがまま」と言われるし自分でも分かっている。

でも、こんな団長に、文句のひとつも言わなかった。例年には、明るく元気に練習してくれたのが、今年のメンバーだった。例年には、本当に暑さが

## 体育祭の反省

保健体育科主任 中村良三

今年は、異常気象のため気温が高く、熱

中症対策に苦慮したが、無難に学年・全体・予行練習が実施できた。

グランドが乾いている状態が続く中、今

年購入のスプリングラーが力を發揮し、良いグランド状態を維持できた。

創立百十周年記念第六十回体育祭は、九月二十二日土曜日。秋晴れの中、予定通り実施された。

開会式で岩崎さんが加高祭のテーマ「紳士

を上手に表現し、さわやかな選手宣誓をしました。

クラス学年の意地を掛けた「学級対抗リレー」や「蜘蛛合戦」「綱引き」等各競技

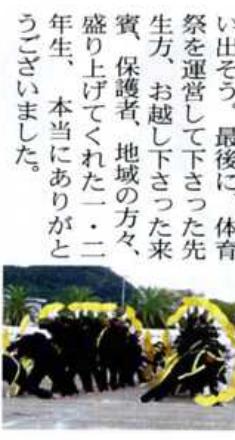
閉会式では、校歌を生徒全員で歌い、PTA副会長の音頭で万歳三唱し、素晴らしい体育祭を終了した。

今年も、見に来られた多くの父母や観客に感動を与えてくれた。

応援演技は、今年も全学年とも団長を中心良くまとまり、太鼓の音頭でリズミカルに力強く整然と統制の取れた演技を披露した。一年生は、無難に演技した。二年生は、三年生に劣らない演技を披露。三年生は、貫禄の演技で優勝した。

種目に全力を注ぎ、熱い戦いを開催した。

優勝争いは、混沌とする中、三年生が逃げ切り、優勝を成し遂げた。



## 文化祭をふり返つて

生徒会長 二年七組 今塩屋 聰伸

今年も九月七日、八日にかけて文化祭が行われました。毎年、加治木高校の文化祭には大変すばらしいものを感じますが、今年は特に、たくさんのこと学ぶことができたと思います。

今年の加高祭は創立百周年記念ということで、百周年を意識した作品や舞台発表が多數ありました。この機会を通して、加治木高校のことを詳しく知ることができたと思います。ることは加高生として、大変うれしく感じます。

加治木高校は多くの先輩方が残して下さった歴史の上に成り立っています。私たちはこのことをしつかり胸に刻みながら、日々の生活を送らなければなりません。

また、このような行事において毎回思うのですが、何かを作りあげるため最も重要なのは一人一人の力だと思います。人間が社会を生きていって、何の役割も持たずに生活するのは不可能です。

第60回 加高祭

## 「勤労体験学習」自然に触れ、今思う。

一年三組 永元 健太

一年生によつて毎年行われる学有林の下払い作業。私たちも例年とおりにこの作業に参加した。作業の中心は草刈りであると聞き、山の姿を想像した。大変であるとは思つたが、期待の方があるかにそれを上回り、ずっと楽しみにしていた。

学有林に着くと、そこで作業の説明と山の働きや役目についての話を聞いた。今年生によつて毎年行われる学有林の下払い作業。私たちも例年とおりにこの作業に参加した。作業の中心は草刈りであると聞き、山の姿を想像した。大変であるとは思つたが、期待の方があるかにそれを上回り、ずっと楽しみにしていた。

た。その間、学校とは違つた澄んだ空気が漂つているのを感じた。その後、各クラスの持ち場に移動して清掃作業を始めた。山は私の想像よりも広く、鬱蒼としていた。終わるかはるかにそれを上回り、ずっと楽しみにしていた。

一年生によつて毎年行われる学有林の下払い作業。私たちも例年とおりにこの作業に参加した。作業の中心は草刈りであると聞き、山の姿を想像した。大変であるとは思つたが、期待の方があるかにそれを上回り、ずっと楽しみにしていた。

う一度周りを見回して出来ることを探終了した。私にとつてこの時間はあつという間だった。疲れてはいたが、とても気持ちの良い疲労だった。

このような機会に自然に触れてみて、その重要性を改めて実感した。山の緑は目を癒し、心地よさを感じさせてくれる。「人間にとつても自然が一番適した生活環境なんだ」と私は思つた。そして、これを守ることがいかに大切であるかを学んだのである。

世界的に広がる自然破壊。これほどまでに問題が大きいと「自分一人がやつたつて意味ない」と思う人がいるであろう。しかし、そうではないのだ。もちろん頑張つていきましょう。

## 芸術鑑賞会を終えて

芸術科 下茂 大二郎

「芸術の秋」には少し早いかと思えるような気候の中、十月十八日に平成十九年度の芸術鑑賞会が行なわれた。今年は「古典落語」の年にあたり、「上方落語」の鑑賞会を行なつた。二年前から、町のすぐれた文化施設である加音ホールを利用して鑑賞会を行なつてゐるが、客席数の関係で、一・二年生のみの鑑賞になつていた。しかし三年生や職員から、「ぜひとも全学年で鑑賞を!」という声が多く、今年は午前・午後の二回公演という形をとつた。結果的には大成功であつたと思う。

う一度周りを見回して出来ることを探してほしい。今回私が得た物はとても大きかつた。

ところで近年なかなか日本の伝統的古典芸能に触れる機会が少ないので、古来の「古典上方落語」の鑑賞会は、生徒たちにとって、ほぼ全員が初めての体験であり、そして、とても興味深く、鑑賞していたように思う。幕が上がり、まずは若手のエネルギーが「上方



**まなびや  
青春の学舎へようこそ！  
OBらと絆(きずな)深めた110周年**



記念講演 11時から12時  
「モータースポーツ技術と文化」  
講師：柿元邦彦 氏(S39卒業)  
ニッサン・モータースポーツ・  
インターナショナル 総レース部門  
スーパーバイザー

創立110周年

**記念式典・祝賀会開催**



11月10日(土)記念式典で旧制加治木中学校の校歌を歌う野球部員のみなさん。現役生の歌う校歌に思わず涙ぐむOBも・・・

加治木高等女学校の校歌をコーラス部・新体操部・ハンドボール部の生徒が披露。会場からも麗わしい歌声が響いていました。



**Kajiki Spirits Forever**

第11回一日遠行 11月22日(木) ご協力ありがとうございました！

今回のPTA協力者は過去最高の135名！朝7時50分の出発式(椋記念館駐車場)では小倉校長よりご挨拶を頂き、保護者らはそれぞれの給水所へ向かった



昭和Vあいら辻川支所前給水所のみなさん  
OB新田さんらも参加！  
(これまでの提水流給水所を変更)

**文化祭**

**PTA お休み処**

9月8日(土) 9時から15時開店 P.T.A協力保護者 60名

**生徒会と協力**



● 伝統や絆(きずな)を実感した110周年！ ● ガんばれ！加高生 ● 保護者も協力

PTA新聞編集会議  
10月18日(木)

3年部母親理事らが12月号を担当



♪音楽甲子園で入賞♪  
8月21日

松嶺彩夏さん(3年)  
自作曲「イマ」を歌うAyanaさん



国体ラグビー  
九州ブロック大会 8月18日

菊池俊成さん(3年) 参加



芸術祭鑑賞 落語  
10月18日(木)

寄席入り！永元さん(1年)





研修部長、3年P  
大雨を心配して向かつた研修視察でしたが、当日の熊本は、秋風の吹く心地よい一日となりました。熊本大学では、副学長の辛口ながらとても楽しい講義に引き込まれ、熊本城では久しぶりに歴史を感じてきました。  
あつという間の一日でしたが、キャンパスの中の生き生きとした大学生を見て、加治木高校生の夢が一人でも多く叶うことを願い帰路に着きました。「行つてよかったです！」この機会を作つていただいた学校、担当の先生方、不慣れな役員を気遣つてくださった参加者の方々に感謝して研修視察の報告とさせていただきます。

PTA研修視察・熊本



- ◆ 観察日程 10月10日(水)  
7時45分学校出発～18時10分到着
  - ◆ 先生4名  
(政元 鮎川 福森 木ノ下)
  - ◆ 保護者69名
  - ◆ 熊大10時30分から12時30分
  - ◆ 昼食 全日空ホテル昼食バイキング
  - ◆ 熊本城14時30分～15時30分
  - ◆ バス2台
  - ◆ 往復 宮原PAで15分ずつ休憩

アンケートより ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



熊本大学  
▼副学長の説明や海外留学中の体験談など興味深くきいた▼長い歴史や文化を感じた▼緑が多くてとても環境がいい  
熊本城：  
▼歴史を感じることができた▼小学6年の修学旅行以来だった▼初めてだったので感動した！

小雨が降る中、バスを見送る小倉校長と下井田事務長（右写真）



▲7時45分学校前出発。乗車前に昼食代金1500円と熊本城入場料500円を徴収!

J o y   o f   B o o k s ジョイ オブ ブックス  
 図書館 第11回 J O B (通称 ジェーオービー)

12月1日(土) 13時から14時30分

生徒・先生・保護者によるブック!

★ホームページもご覧ください  
2004年に始まり、2005年にはJOBやホームページ等、読書活動にとり組む数々のユニークな企画で全国文部科学大臣賞を受賞！ 加治木高校図書館が誇るオシャレで知的な行事です。一学期に1回開催

保護者、O B、地域の方々どなたでも参加できます



優勝旗を手に涙を流す姿を見て、多くを語らない息子の、体育祭に臨んだ思いを感じることでした。

体育祭応援団長保護者秘書



第60回加高祭 ● 体育祭～保護者の声

▼午前の部の最後に行われていた「エッサ」をこの数年見られないのが残念！ぜひ復活させて！▼加治木高校ならではの種目「くも合戦」を毎年楽しみにしている▼体育祭終了後、3年生全員が大楠（加治木高校のシンボル）下の階段に座り、応援団が「優勝演舞」を披露しているのをみて感動した▼学年看板に描かれた絵や言葉が素晴らしい。毎年、体育祭の楽しみのひとつ

部活動大会参加  
及び入賞記録

△ 水泳	県春期水泳大会 (7種目出場権)
△ 津曲	下赤、深見、田中
高校総体	決勝進出種目なし
△ 野球	春季大会 第3位
H G旗大会	第3位
秋季大会	2回戦
△ 柔道	個人 60kg級 前田 2回戦
△ 剣道	高校総体 男子団体 1回戦
△ 個人	個人 女子 四元ベスト16
△ 道	高校総体
団体	男子予選落ち 女子6位
個人	弟子丸・園田 予選通過
高校新人大会	
団体	男子3位 (九州大会出場)
女子	3回戦
個人	大脇 ベスト8
△ ラグビー	高校総体及び全九州予選 2回戦
1・2年生大会	2回戦
△ バレーボール	全国高校県予選 2回戦
男子	全九州総合選手権県予選
高校総体	男子 1回戦 女子 ベスト8
男子	1回戦 女子 4回戦
高校新人大会	
△ サッカー	高校総体 2回戦
男子	1回戦 女子 3回戦
高校総体	男子 1回戦 女子 3回戦
1年生大会	ブロック3位
選手権大会	1回戦
△ ハンドボール	高校総体
男子	3位 女子 2回戦
南九州県予選	
男子	4位 女子 予選リーグ敗退
△ バスケットボール	高校総体
男子	1回戦 女子 2回戦

文化部門

△吹奏樂部 第52回鹿児島県吹奏樂コンクール 金賞  
第54回NHK杯放送コンテスト鹿児島県大会 創作ラジオドラマ部門 優良賞(銘)  
第29回九州高校放送コンテスト鹿児島県大会 ラジオ番組部門 優秀賞(リセツト)  
朗読部門 優良賞(川口)

▽その他	
第10回英語ディベート大会	県大会 優秀賞
弦楽器部門	銅賞 3年 松園大志
第31回全九州音楽コンクール	(福岡大会)
弦楽器部門 銅賞	3年 中村知世
弦楽器部門 銀賞	3年 中迫千鶴
弦楽器部門 金賞・グランプリ	3年 中村知世
金管楽器部門 金賞	2年 濱田理佐
木管楽器部門 銀賞	3年 久維明美
ピアノ部門 銅賞	2年 宮崎聖子
ピアノ部門 銀賞	2年 今村友哉
第34回鹿児島県ソロ・アンサンブルコンテスト	伊東愛
ソロ部門 グランプリ	2年 豊島侑美
最優秀伴奏者賞	2年 濱田理佐

優秀賞	2年	提みなみ
優良賞	2年	原田雅子
詩部門	優良賞	2年 原田雅子
短歌部門	最優秀賞	2年 提みなみ
俳句部門	佳作	2年 原田雅子
第22回高校生詩のボケシング全国大会出場	2年	提みなみ
第9回九州プロック文芸祭登場		
△家庭クラブ	第1席 2年	提みなみ
△ 県の役員会・研究発表大会などに参加	地区家庭クラブ当番校として	
区の発表会開催。	地	

県高校美書道展	いちき串木野賞
秀作賞 2年 豊穣有香	福元栄月・永平昌子
優秀賞 1年 中嶋千代美・森田育美	龍谷美
3年 龍谷美	